

資料提供 高知県土木部防災砂防課（P 1, 2, 4）  
NPO法人土砂災害防止広報センター（P 3）

# 1 はじめに

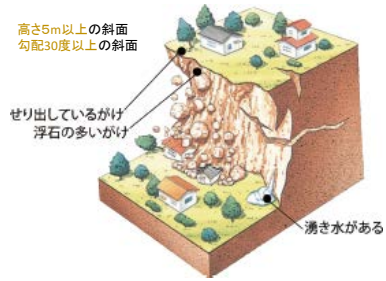
大雨や地震によって引き起こされる土砂災害は、発生箇所や発生時期の正確な予想が困難である上、人的被害に結びつくおそれも高いことから、早期の避難が重要となります。

このハザードマップを活用して、皆さんが生活している場所を事前に確認し、早期の避難行動がとれるように準備しておきましょう。

## 2 土砂災害の種類

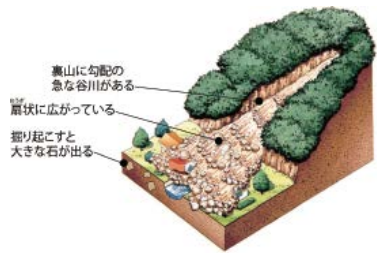
土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地すべりの3種類があります。

### ① がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



- ・雨や地震などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。
- ・住家の裏山で突然起こると、逃げ遅れる人も多く、人的被害の割合も高くなります。
- ・左図のような場所が危険です。

### ② 土石流



- ・集中豪雨などで崩れ落ちた山腹の岩や土砂の一部が、川底の石などと一緒に下流へ押し流される現象です。
- ・流速20~40km/hで一瞬のうちに人家などを壊滅させてしまいます。
- ・左図のような場所が危険です。

### ③ 地すべり



- ・比較的緩やかな斜面が地下水などの影響により、ゆっくりと斜面下方へ移動する現象です。
- ・大雨などにより地下水が上昇すると、移動の速度を速め、一気に崩れ落ち、広範囲に甚大な被害を及ぼす可能性が高くなります。
- ・左図のような場所が危険です。

### 3 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域

高知県では、「がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害3種類において、土砂災害の発生するおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」、そのうち建物が破壊され大きな被害が生じるおそれがある区域を「土砂災害特別警戒区域」として指定しています。

## 土砂災害警戒区域

通称: イエローゾーン

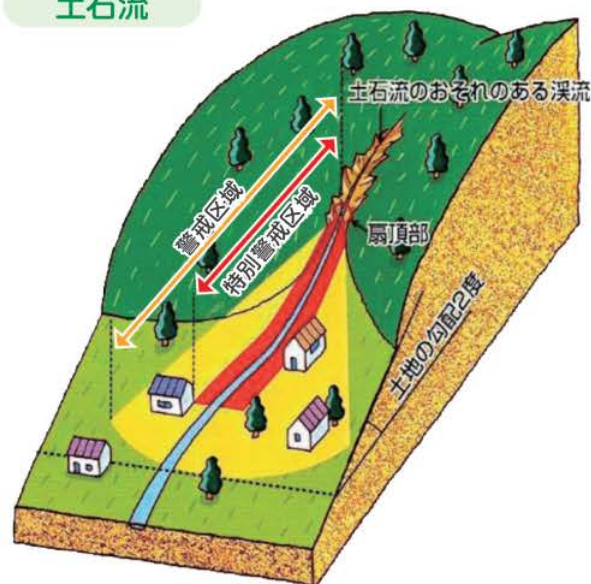
●土砂災害のおそれがある区域

## 土砂災害特別警戒区域

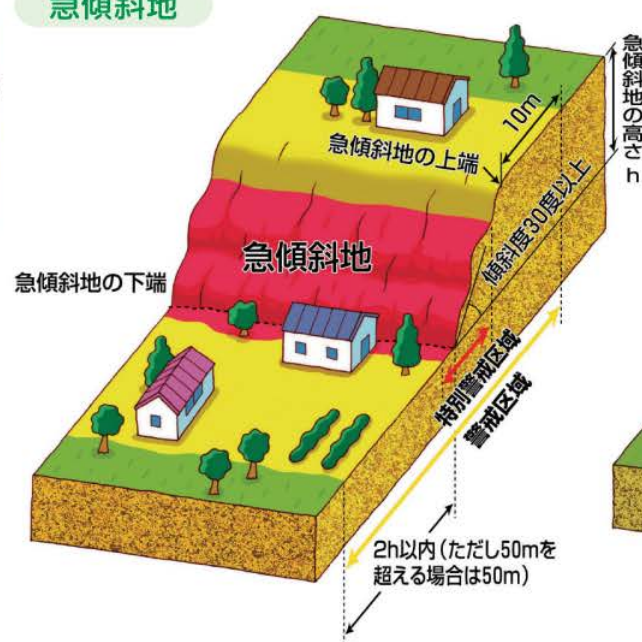
通称: レッドゾーン

●建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

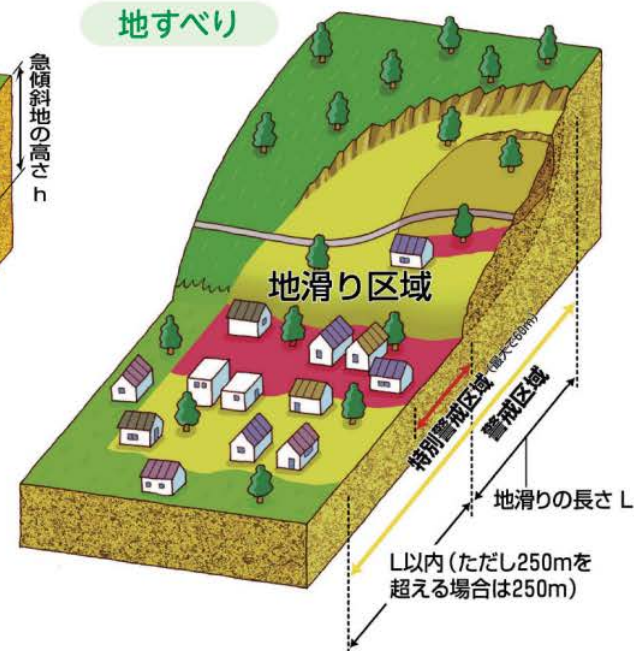
土石流



急傾斜地



地すべり





## 4 土砂災害の前兆現象

土砂災害(がけ崩れ・土石流・地すべり)には前兆現象があります。

### がけ崩れ

- がけにひび割れができる
- 斜面から水が湧き出る
- がけから小石がバラバラと落ちてくる
- 地鳴りがする
- 樹木が揺れたり傾いたりする



### 土石流

- 急に川の水が濁り流木が混ざる
- 雨が降り続けているのに、川の水位が減る
- 地鳴りや山鳴りがする
- 焦げくさい・土くさい・腐った土のにおいがする
- 大きな石がゴロゴロと流れる音が聞こえたり、川の中に火花が見える
- 山の樹木がザワザワと騒ぐ
- 木の裂ける音がする
- 木の根が切れる音がする



### 地すべり

- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が噴き出す
- 沢や井戸の水が濁る
- 地面に割れ目や段差ができる
- 壁や塀に亀裂が入る
- 床や壁, 電柱が傾く
- 石垣やよう壁が盛り上がったり, 亀裂が入っている
- 山の樹木がザワザワと騒ぐ
- 木の裂ける音がする
- 木の根が切れる音がする
- 地鳴りや山鳴りがする



## 5 土砂災害からの避難行動の際の注意点

### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)からの避難方法

がけの高さの2倍の距離まで土砂が襲ってくる場合があります。  
できるだけ**遠くまで**逃げましょう。



### 土石流からの避難方法

土石流はスピードが速いので、流れを背にしてもすぐに追いつかれます。  
土砂の流れる方向に対して**直角に**、できるだけ**高いところ**に逃げましょう。



### 緊急時の屋内安全確保

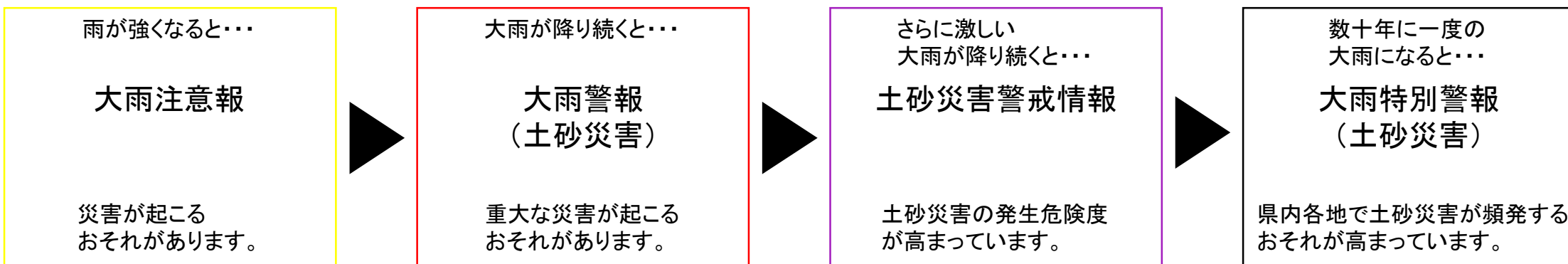
夜間の激しい降雨時など、屋外への避難が難しい場合は、建物の2階以上に避難し、山側と反対の部屋に移動しましょう。



**日頃からハザードマップを確認し、避難の際にどこにどのように逃げるのか知っておくことが重要となります**

## 6 避難の判断とタイミングについて

雨が降り始めたら、気象情報をチェックし、早目の避難に備えましょう。



## 7 避難に関する情報について

災害が発生するおそれがあるときに、市や気象庁等から警戒レベルに応じた避難情報等を発表・発令します。

※危険や不安を感じたら、警報や注意報が発表されていなくても、早目に避難しましょう。特に、避難に時間がかかるお年寄りや子どもなどは、早目に避難するようにしましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
～ <警戒レベル4までに必ず避難！> ～			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

## 8 土砂災害に関する情報の伝達経路

